



## 「多様性～違う価値観を認める～」

今年開催の「ラグビーワールドカップ日本大会」日本代表をTVで応援してましたか？裏面の森先生は学生時代ラグーマンだったそうです。私はという自信を持って「にわかファン」です。4年前も「スポーツ史上最大の番狂わせ」と世界で報じられた南アフリカ戦での逆転勝利やFB※<sup>1</sup>の五郎丸歩選手のあの独自のルーティーンも大きな話題でした。しかし、当時も「にわか」であった私が一番印象に残っていたことは「多様性」でした。南ア戦の翌日、私は善光寺近くのうどん屋さんでいつもの一人うどん(笑)店内TVのワイドショーも南ア戦の話題でした。その時、近くのテーブルのサラリーマンが同僚に熱く「外国人選手が日本代表として出場する意味と意義」を語っていたのです。ラグビーが盛んな南半球では移民は普通であり、多くのラグビー経験者は「自分がプレーしている国への強い思い」で誇りを持ってその国のユニホームに袖を通すそうです。「国籍なんて関係ないんだよ！多様性を認めてんだよ！15人みんながJAPANとして戦ってくれてんだよ！」あの時のあのサラリーマンに出会ってなかったら、今回こんなに自分自身こんなにラグビーというスポーツに向き合えなかったと思います。代表選手全員が日本のためにそして自分のために前へ前へ進むプレーは本当に素晴らしかったです。残念ながらベスト8で本気の南アに敗れましたが、ノーサイド後の全選手の表情はカッコ良かったですね。

「自己肯定感があるからこそ違う価値観を認められる」これは前W杯時の主将廣瀬俊朗(ドラマ「ノーサイドゲーム」※<sup>2</sup>)の浜畑選手の言葉です。自分自身に自己肯定感があるからこそ対戦相手はもちろん仲間の実力や価値観を認めることができるそうです。

「同窓会には行けません いま シンガポールにいます」の大手建設会社のCM※<sup>3</sup>って分かりますか？(笑)みなさんがこれから活躍するビジネスの舞台は、間違いなく「世界」です。あらゆる国の人たちとチームで仕事をしていく、これが君たちのスタイルです。みんなが自分自身に自信を持ちそして多様性を認めることができる人間になってほしいと思った今回のラグビーワールドカップ日本大会でした。ちなみに私の奥さんは大のオールブラックス(NZ代表)ファンです。試合前のハカは大音量です。

※1 FB(フルバック):一番最後尾の選手

※2 ラグビーワールドカップ日本大会直前で最終回を向かえた大泉洋主演のTBSのラグビードラマ

※3 なんと「君の名は。」「天気の子」の監督 新海 誠さんが制作CM

3年次主任 三井恒弘

## 保護者の皆様へ

**10月9日健康の森ウォーキング大会** 今年も天候にも恵まれ、健康の森ウォーキング大会を無事に終えることができました。なんと3年次生が非常によく頑張り、3組の山口瑛志君が男子総合第1位、4組の宮津貴弥君が同じく第3位、5組の古川愛梨さんが女子総合第3位と健闘してくれました。その他にも上位入賞を目標に最後の行事に全力で取り組んだ人、移りゆく季節を感じながら自然を満喫した人、仲間と語り合いながら歩いた人…。生徒たちのいろいろな表情を見ることができました。コース上で御協力くださいました保護者の皆様、ありがとうございました。

**今月は私立大学出願の準備です** 10月にセンター試験の出願が終了し、先日確認書が届きました。これから、併願校の受験を含めた、具体的な受験計画を立て始める時期となりますが、引き続き、御家庭で話し合いをする機会を持っていただきたいと思います。その際、模試のデータ個票を参考にされるとは思います。合否判定だけにとらわれることなく、様々な視点からの検討をお願いします。悔いのない受験のためには、最後まで志望校を安易に諦めることなく、自分の力を知る上で日々の努力の積み重ねを大切にしてほしいと思います。学校では12月の二者面談などを利用してアドバイスをいたしますが、必要に応じて三者懇談をすることもできますので、お気軽に担任まで申し出てください。

## 模試も定期試験も西高生活も最終段階です。

■模試・定試から自分の課題を把握する 11月はマーク模試に始まり、第3回定試で終わります。模試の出題は全範囲に広がるため、思い通りに行かないことも考えられます。結果が出る度に一喜一憂するのですが、そこで嘆いていても何も変わりません。自分の課題を分析し、自分の弱点を強化することが大切だと思います。

■学校での日々を大切にす 普段、当たり前だと思う日常を保つことも大切です。学校生活の一日一日、日々の授業、一緒に過ごす仲間…。学校生活の中での日常には、皆さんを成長させるチャンスがたくさんあります。自分一人ではなく、仲間とともに受験に向かうことを忘れてはなりません。教室は皆さんにとって学習の場であり、憩いの場であり、そして、仲間とともにお互いを高め合う場でもあります。

### ◎11月行事予定 ～ 今月から、最終下校時刻は18:30です(冬時間になりました)～

日	曜日	A/B	予 定	日	曜日	A/B	予 定
1	金	B	冬服期間(～4/30) 第2回PTA理事会 <b>ベネッセ・駿台共催マーク模試(3)</b>	16	土		<b>土曜講座(1,2,3)</b>
2	土		<b>ベネッセ・駿台共催マーク模試(3)</b>	17	日		
3	日		文化の日	18	月	A	きずなの日
4	月		振替休日	19	火	A	週礼
5	火	A	年次会議	20	水		県民の日 科学探究プログラム(先端科学技術研修)
6	水	A	週礼 運営委員会	21	木	A	
7	木	A	第40回山梨県高等学校芸術文化祭ハレト・グランドステージ	22	金	A	
8	金	A	履修本登録提出締切 IB指導法研究会 進研記述模試(2)	23	土		勤労感謝の日
9	土		進研記述模試(1,2) 囲碁選手権大会会場(鳳凰館)	24	日		
10	日		囲碁選手権大会会場(鳳凰館)	25	月	B	きずなの日
11	月	B		26	火	行	朝礼 <b>第3回定期試験</b>
12	火	B		27	水	行	<b>第3回定期試験</b>
13	水	B	職員会議 週礼 第4回マナーアップ運動	28	木	行	<b>第3回定期試験</b>
14	木	B	第4回健康の森ウォーキング大会準備委員会	29	金	行	<b>第3回定期試験 全統プレテスト(3)</b>
15	金	B	大掃除(ストーブ点検) 校外清掃IB指導法研究会 生徒協議会	30	土		<b>全統プレテスト(3)</b>

※11月26日(火)から高校最後の定期試験です。しっかりとした準備時間を確保すること。

◎副担からの寄稿 今月は4組副担任の 国語科 森 陸史 先生です。

ラグビーワールドカップ、盛り上がりましたね！中学・高校と6年間、ラグーマンだった私にとっても、この状況は本当にうれしい限りです。勝手な身内意識ですが、ぜひ今後もみなさん、ラグビーをひとつよろしく願いいたします、といった感じです。

さて、その盛り上がりの要因と言えば、なんといっても日本代表の勝利が挙げられるでしょう。特に、優勝候補とも言われたアイルランドや、前回大会における予選敗退の原因となったスコットランドとの試合は、手に汗握るものがありましたね。どちらも見事勝利したわけですが、それぞれの試合でプレイヤー・オブ・ザ・マッチ(最も活躍した選手)に選ばれた、堀江選手と福岡選手の試合後のインタビューが私にはとても印象的でした。

勝因などを聞かれ、堀江選手は「死ぬほど練習したから、それが自信になった」福岡選手は「この時のために全ての時間を犠牲にしてきた」と答えていました。

どちらもなかなか言える言葉ではありませんね。勘違いしている人もいるので少し経験者の立場から言わせてもらおうと、ラグビーは一流選手(外国人プレイヤー含む)を集めたからといって簡単に勝てるスポーツではありません。ひとつは1対1の場面が少ないからです。あの有名になったオフロードパス(相手のタックルを受けながらも、倒れつつするパス)も、パスしやすいところに味方がフォローに来て初めて成立します。また、スクラムに代表されるように、チームで勝たなければならない局面も多々あります。この両選手をはじめとして日本代表の選手は、控えにまわった選手や、スタッフも含めて、個人としても、チームとしても、文字通り「全ての時間を犠牲にして死ぬほど練習してきた」のだと思いました。

さてみなさん。もう私の言いたいことはわかりますね。これからのチーム西高、「ONE TEAM」でめっちゃくちゃ頑張りましょう！もう倒れそう？俺がフォローに行きます！（あ、国語と小論文だけね。他は友達や別の先生がフォローに行きます。）

